

Quick Search

Advanced Search

Number Search

Last result list

My patents list

Classification Search

Get assistance

0

Classification Search

Get assistance

Quick Help

Why are some tabs deactivated for certain documents?

Why does a list of documents with the heading "Also published as" sometimes appear, and what are these documents?

What does A1, A2, A3 and B stand for after an EP publication number in the "Also published as" list?

What is a cited document?

What are citing documents?

What information will I find if I click on the link "View document in the European Register"?

Why do I sometimes find the abstract of a corresponding document?

Why isn't the abstract available for XP documents?

What is a mosaic?

RANDOM ACCESS DEVICE

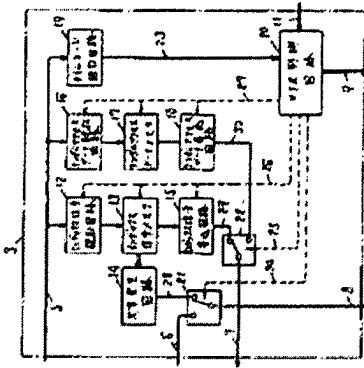
Publication number: JP62008389
Publication date: 1987-01-16
Inventor: FUKAI TOSHIHIKO
Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
Classification: G11B27/00; G11B27/34; G11B27/00; G11B27/34; (IPC1-7): G11B27/00; G11B27/34
- International:
- European:
Application number: JP19850147559 19850704
Priority number(s): JP19850147559 19850704

[View INPADOC patent family](#)
[View list of citing documents](#)

[Report a data error here](#)

Abstract of JP62008389

PURPOSE: To make unnecessary a program list of another control converting the program list of the program recorded at a video tape to the character and displaying to a monitoring television. **CONSTITUTION:** When the electric power source of a random access control circuit 3 is ON or the video tape is inserted into a VTR 1, by an index control signal 26, an index reading circuit 12 functions and reads the index data. The read index data are stored in an index signal memory 13. The index data are added to a character generating circuit 14, converted to the character signal and outputted as a program list signal 28. For a video signal change-over circuit 21, by a video change-over signal 24, the program list signal 28 is selected, outputted as a monitor signal 8 and the program list can be displayed.



⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-8389

⑮ Int.Cl.⁴

G 11 B 27/34
27/00

識別記号

庁内整理番号

P-6507-5D
C-6507-5D

⑬ 公開 昭和62年(1987)1月16日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 ランダムアクセス装置

⑯ 特 願 昭60-147559

⑰ 出 願 昭60(1985)7月4日

⑱ 発 明 者 深 井 敏 彦 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社 門真市大字門真1006番地
⑳ 代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

明 細 書

1、発明の名称

ランダムアクセス装置

2、特許請求の範囲

ビデオテープの始端に記録するインデックスデータおよびランダムアクセス用データと、それらを記録再生する回路と文字発生回路により、ビデオテープに記録されている番組の番組リストを文字に変換してモニタテレビに表示するように構成したことを特徴とするランダムアクセス装置。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明はビデオテープレコーダを用いて1巻のテープに記録された複数の番組の中から、任意の番組を自由に取出して再生するランダムアクセス装置に関するものである。

従来の技術

近年、ランダムアクセス装置は製品展示会での商品案内等ますます需要が高まってきた。

以下、上述した従来のランダムアクセス装置の

一例について説明する。従来のランダムアクセス装置は複数の番組と、その番組をアクセスするためのランダムアクセスデータがテープに記録されているだけであり、番組リストはテープとは別に存在し、その番組リストを参照しながら番組を選択していた。

発明が解決しようとする問題点

このためテープと番組リストを1対1に対応して管理しなければならず、テープの数が多くなるとその管理がやりにくいという問題があった。

本発明は上記問題点に鑑み、番組リストをインデックスデータとしてテープの始端に記録し、再生時にはそのインデックスデータを読取り、文字発生回路によって文字に変換し、モニタテレビに番組リストとして表示することにより、従来の別管理の番組リストを不要とするランダムアクセス装置を提供するものである。

問題点を解決するための手段

上記問題点を解決するために本発明のランダムアクセス装置は、ビデオテープの始端に記録する

インデックスデータと、それを記録再生する回路と文字発生回路という構成を備えたものである。

作用

本発明は上記した構成によって、1巻のテープに複数の番組を記録するとき、任意の番組をアクセスするためのデータに加えて番組リストのデータをインデックスデータとしてテープ始端に記録することができ、再生時はこのインデックスデータを文字発生回路に加えることにより文字に変換され、モニタテレビに番組リストを表示することができるため、従来の別管理の番組リストが不要となる。

実施例

以下、本発明の実施例のランダムアクセス装置について図面を参照しながら説明する。

第1図は本発明の実施例のランダムアクセス装置のブロック図である。第1図において、1はビデオテープレコーダ(以下、VTRと略称する)、2はモニタテレビ、3はランダムアクセス制御回路である。4は音声信号、5は再生データ信号、

6はインデックスデータが記憶される。インデックスデータは文字発生回路14に加えられ、文字信号に変換され、番組リスト信号28として出力する。21はビデオ信号切換回路であり、24のビデオ切換信号により番組リスト信号28が選択され、8のモニタ信号として出力し、番組リストを表示することができる。

次に前記インデックスデータの読取と同様の動作でランダムアクセスのためのデータの読取を行う。16がランダムアクセスデータ読取回路であり、再生データ信号5からデータを読取り、ランダムアクセスデータメモリ17に記憶し、ランダムアクセスの準備完了となる。

ランダムアクセスの動作は操作信号11によってスタートする。番組が選択されたときはVTR制御回路20の指示により、タイムコード読取回路19でテープの位置を読取り、ランダムアクセスデータメモリ17に記憶された番組の位置と比較し、VTR制御信号9によりVTR1を制御し、番組を捜し出し、再生する。

6はビデオ信号であり、それらはともにVTR1から出力される信号である。7は記録データ信号であり、ランダムアクセスおよびインデックス表示のためのデータである。8はモニタ信号であり、モニタテレビ2に加えられている。9はVTR制御信号であり、ランダムアクセスのときVTR1を制御するための信号である。10は操作スイッチ、11は操作信号であり、ランダムアクセス制御回路3に対する指令である。

第2図に本発明の主要部であるランダムアクセス制御回路3の詳細図を示し、本発明の動作についてインデックスデータ、ランダムアクセスデータの読取り、ランダムアクセスの動作、インデックスデータ、ランダムアクセスデータの書き込みの順に説明する。

まず、ランダムアクセス制御回路3の電源オン又はVTR1にビデオテープを挿入したときはインデックス制御信号26により、インデックス読取回路12が働き、インデックスデータを読取る。13はインデックス信号メモリであり、読みと

最後にインデックスデータ、ランダムアクセスデータの記録について説明する。15はインデックス信号書込回路であり、インデックス信号メモリ13に記憶されたインデックスデータをオーディオ信号に変換する回路である。同様に18はランダムアクセスデータ書込回路であり、ランダムアクセスデータメモリ17に記憶されたデータをオーディオ信号に変換する回路である。22は記録データ信号切換回路であり、記録データ切換信号25によりインデックスデータ29かランダムアクセスデータ30かを選択し、記録データ信号7として出力し、テープに記録するものである。

以上のように本実施例によればインデックスデータの記録再生回路と文字発生回路を設け、読み取ったインデックスデータを文字に変換することにより、番組リストをモニタテレビに表示することができる。

発明の効果

以上のように本発明によれば番組リストをモニタテレビに表示することができるため、紙に書い

た番組リストが不要というすぐれた効果を得ることができる。

また文字発生回路にVTR制御回路からの信号を加えることにより、VTRの動作を表示することができ、番組を選択したとき、目的とする番組が出画するまでの待ち時間を表示できるという効果もある。

さらに番組リストがモニタテレビに表示されるため、ライトペンと組合せることにより、番組の選択が容易になるという効果もある。

4、図面の簡単な説明

第1図は本発明の実施例に係るランダムアクセス装置のブロック図、第2図は本発明で使用するランダムアクセス制御回路の一例の詳細ブロック図である。

1……ビデオテープレコーダ(VTR)、2……モニタテレビ、3……ランダムアクセス制御回路、12……インデックス信号読取回路、13……インデックス信号メモリ、14……文字発生回路、16……インデックス信号書込回路、18……

……ランダムアクセスデータ読取回路、17……ランダムアクセスデータメモリ、19……ランダムアクセスデータ書込回路、20……タイムコード読取回路、21……VTR制御回路、22……ビデオ信号切替回路、23……記録データ信号切替回路。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

